

# 日本の公教育システムの再構築 — 教育の公正の視点から —

格差社会の進展のもとで、日本の公教育システムの意義が問い直されている。その改善のために今日主として採用されているのが、競争原理や成果主義を中心とする新自由主義的な改革手法である。そこでは、もっぱら教育の「卓越性」(excellence)が取り沙汰され、教育の「公正」(equity)の原則は等閑視されがちである。

本シンポジウムでは、具体的には、「格差」や「貧困」や「社会的排除」といった現代的な諸課題に対して、有効な手立てとなりうる教育の制度・内容・方法の抜本的な検討を行い、具体的な提案に結びつけたい。

司会 竹下秀子 (滋賀県立大学教授、日本学術会議連携会員)

- 13:30 趣旨説明 竹下秀子
- 13:40 過剰包摂社会の超克と「ポスト・第三の道」－教育政治学の視点から 小玉重夫  
(東京大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議第一部会員)
- 14:10 格差社会における排除と包摂－教育社会学の視点から 志水宏吉  
(大阪大学大学院人間科学研究科教授、日本学術会議第一部会員)
- 14:40 ガバナンス改革と教育の平等保障－教育行政学の視点から 大桃敏行  
(東京大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議連携会員)
- 15:10 休憩
- 15:25 コメント「教育の歴史の視点から」 広田照幸 (日本大学教授、  
日本教育学会会長)
- 15:40 コメント「国際比較の視点から」 北村友人 (東京大学大学院教育学研究科准教授、  
日本学術会議連携会員)
- 15:55 パネルディスカッション 「日本の公教育システムの再構築に向けて」
- 17:00 閉会

日時 2016年7月2日 土 13:30-17:00

場所 日本学術会議講堂  
<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>  
(千代田線乃木坂駅下車3分)

参加費無料／先着250名様  
※事前申し込み不要。当日直接会場にお越しください。

